

平成19年1月16日

保護者の皆様  
地域の皆様

京都市立修学院第二小学校  
校長 小山 逸夫

修二だより臨時号

## 教職員の自己評価について

新春を迎え、皆様方にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は本校教育にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、子どもたちに「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育むためには、学校、家庭、地域が連携し、役割を分担してそれぞれの教育機能を発揮していくことが大切であると考えています。そのためにはまず、三者が子ども達の実態や課題を共有することから始めなければなりません。そこで、自由参観日の折には保護者の皆様にアンケートをお願いし、学校自らがその教育活動を見つめなおす資料とするとともに、皆様方にも公表させていただいています。また、地域の皆様方には各種会合、学校評議員制度を通して、教育計画や取組状況の説明をしたり、ご意見を伺ったりしています。

おさらに今回、教職員が「子ども達の実態」、「教職員一人一人の取組の成果」、「学校(教職員集団)としての取組の成果」等について、下記のとおり自己評価いたしました。校内研究を核に据え修二教育を推進していますが、まだまだ成果も半ばであり、更なる積み重ねの方向を探っているところです。また、項目によっては皆様方の意識との間に「ずれ」があるかと思いますが、懇談会等を通して話し合いを深め、「ずれ」を修正しつつ、子ども達の確かな成長を目指して、ともに取組を進めていきたいと願っています。

なお、来る2月6日の研究発表会は、これまでの本校研究の成果を発表し、広く内外にその正否を問う機会にしたいと思っておりますので、皆様方にも是非ご参観いただきますようご案内申し上げます。

評 価 項 目		評 定				
		A	B	C	D	
学校 教育 目標 と 目 指 す 子 ど も 像	1	学校教育目標の具現化に取り組めたか。	6	11		
	2	確かな学力をつける子に子どもが育ってきているか。		15	1	
	3	「人・もの・自然にやさしくできる子」に子どもが育ってきているか。		13	4	
	4	「自分の思いを自分のことばで表現できる子」に子どもが育ってきているか。	1	13	3	
	5	「すすんで健康な生活を送る子」に子どもが育ってきているか。	3	14		
	6	「あいさつができる子」に子どもが育ってきているか。	1	9	7	
教科・ 総合・ 道徳等 の 指 導	7	一人一人の子に教科の基礎基本の内容が身についているか。	2	11	2	
	8	一人一人の子どもの持つ、個性や可能性を伸ばす学習を展開しているか。	3	12		
	9	特別な配慮を要する子を焦点化して進めているか。	8	7		
	10	学習内容が十分定着していない子に家庭との連絡を密にして取り組んでいるか	4	7	4	
	11	子どもの関心意欲を高め、一人一人が課題を追求し、体験活動を重視した総合的な学習を進めているか。	1	12	2	
	12	一人一人の子に課題を発見し追究していく力が身についているか。		11	4	
	13	一人一人の子に道徳的心情や判断力が育ち、実践力が身についているか。		15	2	

